

# Press Release



発表日 2021年3月31日

## 札幌市時計台の電力が 再生可能エネルギー100%になります

国指定重要文化財である札幌市時計台では、使用する電力をすべて再生可能エネルギー由来の電力に切り替えます。

報道機関の皆様には、周知にご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 施設概要

名称：札幌市時計台  
所在地：札幌市中央区北1条西2丁目  
建築年：1878年（明治11年）  
文化財指定：1970年（昭和45年）に国指定重要文化財として指定

### 再エネ電力導入取組内容

道内のJクレジット（再エネ電力由来）を購入することで、札幌市時計台で使用する電力を、100%再生可能エネルギー由来の電力とします。

ライトアップを含めた札幌市時計台全館の電力が対象で、北海道内の国指定重要文化財施設としては初めての取り組みとなります。

### 実施目的

札幌市のシンボルであり、国指定重要文化財である札幌市時計台は、国内外から多くの来館者が集まる観光名所のひとつでもあります。

この札幌市時計台で使用する電力を再生可能エネルギー100%とすることで、国内外に向けて広く「SDGs」、「ゼロカーボンシティ」の取り組みをPRするとともに、札幌市時計台に関心を持ち、その文化・歴史に触れていただく機会を作り出すための一助とします。

### 背景・経緯

近年、気候変動に伴う大型の台風や洪水といった異常気象による大きな被害が世界中で起きており、地球規模で気候変動対策を強めていくことが求められており、札幌市では、2020年2月、札幌市内から排出される温室効果ガスを2050年に実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言し、率先して対策への取り組みを進めています。

札幌市時計台指定管理者エムエムエスマンションマネジメントサービス株式会社は、国際的な「SDGs」の取組及び札幌市の「ゼロカーボンシティ」の宣言に賛同し、札幌市時計台で使用する電力を、再生可能エネルギー100%とすることとしたものです。

### 実施日

2021年4月1日から

# Press Release

○ 未来を想う  
Think Green  
環境首都・札幌



## 札幌市時計台の年間電力使用量と年間二酸化炭素排出量の実績（概算）

過去6年間（2014～2019年度）の年間電力使用量は32,000～49,000kWhで、年間の二酸化炭素排出量は約22～34t-CO<sub>2</sub>（杉の木が1年間に吸収する二酸化炭素量（14kg）に換算すると、おおよそ1,500～2,400本分）。

## 札幌市の取組について

札幌市ではこのたび、「ゼロカーボンシティ」の実現を見据え、2030年までに取り組む対策をまとめた「札幌市気候変動対策行動計画」を策定するとともに、市民一人一人が気候変動問題への危機感や対策の必要性を共有し、行動するため、「札幌市気候非常事態」を宣言いたしました。

この「札幌市気候変動対策行動計画」の取組項目の一つとして、市有施設の使用電力を再生可能エネルギー100%に切り替える事業（RE100化モデル事業）の検討を謳っており、このたびの札幌市時計台の取組は、その先駆けとなるものです。

札幌市としては、このような取組が広く市民・事業者などへ波及することを期待するものです。

## 時計台への再エネ電力導入のイメージ



再エネ100%電力の  
夜間ライトアップ

人気のコンサート会場  
2階ホールの電気も  
「ゼロカーボン」

## お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、下記担当までお問い合わせください。

（取組について）

札幌市時計台指定管理者

エムエムエスマンションマネージメントサービス株式会社

マネージメント本部 業務三部 後藤

電話：232-2588 ファクス：232-2638

（市の所管・関連部局）

市民文化局文化部文化財課

電話：211-2312 ファクス：218-5157

環境局環境都市推進部環境政策課

電話：211-2877 ファクス：218-5108